

アオリイカは障泥烏賊 春の大型シーズンへ シャクリでズシンを楽しもう！



▲今では少なくなった餌木シャクリ釣りが楽しめる



◀フィニッシュはタモ入れを

▼餌木は3.5〜4号。オレンジ系がとくに強いとか



▼中オモリは10号を使用



●マタイを脱わせるような力強い引きが楽しい



●パーチカルティップランでアオリ1、アカイカ（マルイカ）2杯を上げた



▲ゲームロッドでも楽しめる



▲根の上、魚礁の上など変化のあるポイントを狙う



●この時期の裏本命とも言えるのが良型のアカイカ（マルイカ）だ



●マルイカ船ではなかなか釣目にかかれないうような大型マタイ



●この日は小ぶりだったが2.5キロクラスまで出ている



▲海面で墨を吐かせておくと安心



▲保田〜金谷沖の水深30メートル前後をピンポイントで探っていく

内房のアオリイカが春の大型シーズンに突入した。この春シーズンから餌木シャクリのアオリイカ船をスタートした内房保田港・村井丸ではすでに2.5キロの大型が取り込まれ、ほかにも2キロ前後の大型交じりの釣りが展開されている。

今やティップラン人気に押されてシャクリ釣りが楽しめる船も少なくなっているが、乗った瞬間の衝撃はやはりこの釣りでしか味わえない。そんな感触が忘れられないファンを乗せて出船。村井丸では根周りや大型アオリイカの反応をピンポイントで狙っていくスピディーな釣りがメイン。

取材日は1キロクラスまでと大型は出なかったが、この時期の裏本命とも言える大型のアカイカも姿を見せた。他船では3キロの大型アオリも出たようので、これから7月ごろまでチャンスは続く。

(詳細は52ページ参照)



◎内房保田港・村井丸 村井 智博船長